

「子どもと規範意識」は 大人の姿が大事!!

田川市学校教育実態調査

平成21年度、田川市小中学校17校の小4・小6・中2の児童生徒とその保護者および小・中学校教職員、合計2,430人に「子どもと規範意識」について、実態調査を行いました。今回は、「子どものうちに、次のことをすると思いますか」に対する子どもの回答をお知らせします。「現在の子どもたちはどんな規範意識で活動しているのか…」子どもの家庭での様子から、一緒に規範意識を考える参考にいただければ幸いです。

児童・生徒はどう考えているのでしょうか？

[表の数字は%]

㊤ 自転車の二人乗り（すると思いますか）

	小4	小6	中2
しないと思う	47.1	25.9	20.9
少なからずするときもあると思う	37.6	40.6	26.8
友だちがしていたらすると思う	3.3	6.3	5.9
すると思う	12.0	27.0	46.4
わからない	0	0.2	0

学年が上がるにつれて「自転車の二人乗りをする」という子どもが増加している。「少なからずするときもある」「友だちがしていたらすると思う」でみると、小学生でほぼ2人に1人、中学生では3人に2人がすると思っていることがわかった。



㊤ 道路を渡ろうとしたら 近くに横断歩道があるのに気づきました。 これからどうするでしょう

	小4	小6	中2
横断歩道を渡る	65.5	47.3	27.8
危険がなければそのまま渡る	30.3	41.5	46.7
面倒なのでそのまま渡る	4.0	9.6	25.0
わからない	0.2	1.6	0.5

「横断歩道を渡る」と答えた子どもは、小4は65.5%、中2では、27.8%である。その差は37.7ポイントである。また、「面倒なのでそのまま渡る」は、小4では4.0%、小6では9.6%しかないのに、中2では、25.0%にも増加する。中学校になると急激に、面倒だから渡るという考え方をするようになることがわかる。

㊤ 子どもだけで深夜に出歩く（夜10時以降）

	小4	小6	中2
しないと思う	81.8	71.6	48.5
少なからずするときもあると思う	12.5	17.2	21.9
友だちがしていたらすると思う	2.4	3.7	6.1
すると思う	3.3	7.0	23.5
わからない	0	0.5	0

子どもだけで深夜に出歩くようなことはないと考えている小4は81.8%、小6は71.6%、中2では48.5%であった。

学年が上がるにつれて、学習塾に通うなどの理由で夜遅くまで出歩く児童生徒が多くなり、帰宅途中にコンビニエンスストアによって買い物をしたり、友達と立ち話をしたりすることが増えていると考えられる。社会的傾向としては、深夜まで営業している店舗の増加や、深夜まで働く保護者の増加も要因として考えられる。

㊤ 学校やトイレなど、公共の物に落書きをする

	小4	小6	中2
しないと思う	92.4	87.6	72.9
少なからずするときもあると思う	4.5	5.4	14.8
友だちがしていたらすると思う	1.7	4.2	4.9
すると思う	1.4	2.4	7.4
わからない	0	0.4	0

「公共の物に落書きする」に関しては、「しない」と答えた子どもは、小学生で10人中9人、中学生で10人中7人である。規範意識は他の調査項目に比べて、かなり高いといえる。「落書きを見つけたらすぐに消す」など、学校だけでなく、家庭や地域での取り組みが徹底しているからと考えられる。

規範意識とは何ですか

規範とは、集団や社会を構成するメンバーに求められる行動の在り方で、それを受け入れ積極的に行おうとする心の動きが規範意識です。規範意識を高めることは、人と人との結びつきを強め互いが幸せな生活を送る上で重要なことです。よりよい社会を形成していくために、次代を担う子どもたちの規範意識を高めていくことが大切なのです。（福岡県教センター「高めよう子どもたちの規範意識」より）